

公安委員会
説明資料 No. 1

監察に関する香川県公安委員会への報告に
関する規則の一部改正について

令和5年2月2日
警務部

議題事項

監察に関する香川県公安委員会への報告に関する規則（平成12年香川県公安委員会規則第17号）の一部を改正する。

1 改正理由

監察実施計画に基づく監察の見直しに対応するため

2 改正内容

(1) 監察実施計画に基づく監察の実施状況の報告（第3条第1項）

監察実施計画に基づく監察の実施状況の報告について、現行の「四半期ごと」から「速やかに」に改める。

(2) 監察実施計画に基づく監察以外の監察の実施状況の報告（第3条第2項）

監察実施計画に基づく監察以外の監察の実施状況について、必要があるときは公安委員会に対し、その実施状況を報告することとする。

3 改正案

「監察に関する香川県公安委員会への報告に関する規則の一部を改正する規則（案）」のとおり

4 施行期日等

(1) 施行期日

令和5年4月1日

(2) 香川県公安委員会の権限に属する事務の専決等に関する規則（平成12年香川県公安委員会規則第34号）の一部改正

上記2(1)及び(2)の改正に伴い所要の改正を行う。

報告事項

令和5年2月県議会定例会において、令和5年度当初予算議案等を上程する。

1 議案の概要

- (1) 予算議案 2件
 - ア 令和5年度当初予算
 - イ 令和4年度補正予算
- (2) 予算外議案 1件
 - 香川県警察関係手数料条例の一部改正

2 予算議案の内訳

- (1) 令和5年度当初予算
 - ア 予算額
259億2,736万円

区 分	総 額	人 件 費	物 件 費
令和5年度	259億2,736万円	201億3,665万円	57億9,071万円
令和4年度	265億9,415万円	202億3,091万円	63億6,324万円
増 減	△6億6,679万円	△9,426万円	△5億7,253万円

イ 主要事業 ※下線は新規重点事業

- 犯罪や事故のない安全で安心なまちづくり推進事業
 - ・ 新 県民の安全・安心を守る警察スマート化事業 (1,375万円)
 - ・ 新 「STOP! 特殊詐欺」被害防止対策プラン (1,918万円)
 - ・ 地域安全かがわ創造プログラム推進事業 (3,411万円)
- 交通死亡事故抑止総合対策事業
 - ・ 体系的な交通安全教育の推進
 - ① 高齢者交通安全ガイド事業 (2,241万円)
 - ② 交通安全教育推進隊事業 (2,379万円)
 - ・ 交通安全施設の整備
高輝度標識・標示集中整備事業 (8,183万円)
 - ・ 交通指導取締りの強化
交通指導取締り資機材の整備 (152万円)
- 警察施設整備事業
 - ・ 坂出警察署整備事業 (1億1,069万円)
 - ・ 交番・駐在所の整備等事業 (3,912万円)
 - ・ 警察施設改修等事業 (2,923万円)

(2) 令和4年度補正予算

- ア 補正予算額
3,836万円

イ 補正内容

国の補正予算に伴う特定交通安全施設整備事業（国土強靱化分）の増額補正

3 今後の予定

2月県議会定例会に上程後、総務委員会において審議

報告事項

令和4年度警察庁監察を受監した結果について報告する。

1 計画に基づく監察

(1) 監察実施項目

人身安全関連事案への迅速かつ的確な対応状況

(2) 受監日及び所属

令和4年11月17日(木) 警察本部

令和4年11月18日(金) 坂出警察署

(3) 警察庁監察担当官等

中国四国管区警察局四国警察支局～首席監察官、監察官、課長補佐、係長

(4) 受監結果

概ね良好であったが、一部指導事項あり

報告事項

令和4年中の刑法犯認知件数は4,173件（前年比+372件）、検挙件数は2,271件（同-119件）、検挙率は54.4%（同-8.5ポイント）で、前年より、認知件数は微増し、検挙件数及び検挙率は微減した。

1 令和4年中の刑法犯の認知・検挙状況等

(1) 刑法犯の認知・検挙状況

包括罪種	認知件数			検挙件数			検挙率		検挙人員			うち)少年		
	数	増減	%	数	増減	%	増減		増減	%	増減	%		
総数	4,173	372	9.8	2,271	-119	-5.0	54.4	-8.5	1,435	-84	-5.5	120	18	17.6
凶悪犯	26	-9	-25.7	25	-11	-30.6	96.2	-6.7	28			2	1	100.0
粗暴犯	326	-45	-12.1	314	-19	-5.7	96.3	6.5	321	-28	-8.0	40	9	29.0
窃盗犯	2,381	114	5.0	1,252	-68	-5.2	52.6	-5.6	683	-24	-3.4	50	3	6.4
侵入盗	239	56	30.6	177	-30	-14.5	74.1	-39.0	43	1	2.4	4	1	33.3
乗り物盗	640	-18	-2.7	87	6	7.4	13.6	1.3	59	17	40.5	16	3	23.1
非侵入盗	1,502	76	5.3	988	-44	-4.3	65.8	-6.6	581	-42	-6.7	30	-1	-3.2
知能犯	449	146	48.2	232	-50	-17.7	51.7	-41.4	107	2	1.9	4	-2	-33.3
風俗犯	84	20	31.3	54	-9	-14.3	64.3	-34.1	37	-28	-43.1	6	1	20.0
その他	907	146	19.2	394	38	10.7	43.4	-3.4	259	-6	-2.3	18	6	50.0

(2) 重要犯罪の認知・検挙状況

罪種	認知件数			検挙件数			検挙率		検挙人員			うち)少年		
	数	増減	%	数	増減	%	増減		増減	%	増減	%		
総数	52	-16	-23.5	52	-16	-23.5	100.0		49	-12	-19.7	7	3	75.0
殺人	5	-1	-16.7	4	-2	-33.3	80.0	-20.0	4	-1	-20.0			
強盗	5	2	66.7	5	2	66.7	100.0		7	3	75.0			
放火	7	-3	-30.0	7	-3	-30	100.0		5	-1	-16.7	1	1	
強制性交等	9	-7	-43.8	9	-8	-47.1	100.0	-6.3	12	-1	-7.7	1		
略取誘拐・人身売買	3	-1	-25.0	2	-2	-50	66.7	-33.3		-6	-100.0			
強制わいせつ	23	-6	-20.7	25	-3	-10.7	108.7	12.1	21	-6	-22.2	5	2	66.7

(3) 重要窃盗犯の認知・検挙状況

手口等	認知件数			検挙件数			検挙率		検挙人員			うち)少年		
	数	増減	%	数	増減	%	増減		増減	%	増減	%		
総数	253	56	28.4	189	-36	-16.0	74.7	-39.5	51	4	8.5	4	1	33.3
侵入盗	239	56	30.6	177	-30	-14.5	74.1	-39.0	43	1	2.4	4	1	33.3
住宅対象	89	20	29.0	51	-14	-21.5	57.3	-36.9	15	2	15.4	2	1	100.0
住宅対象以外	150	36	31.6	126	-16	-11.3	84.0	-40.6	28	-1	-3.4	2		
自動車盗	9	2	28.6	8	1	14.3	88.9	-11.1	5	1	25.0			
ひったくり	2	2		1	1		50.0	50.0	1	1				
すり	3	-4	-57.1	3	-8	-72.7	100.0	-57.1	2	1	100.0			

2 令和5年の「検挙と抑止」に向けた取組

(1) 検挙対策

- ア 重要犯罪等発生時の的確な初動捜査の実施と現場鑑識活動の徹底
- イ 基本捜査（情報分析・解析、盗品捜査、的割り捜査等）の徹底
- ウ DNA型鑑定等の科学捜査の徹底
- エ 広域・連続的に発生する犯罪の早期検挙及び組織的犯罪の徹底検挙

(2) 抑止対策

- ア 令和4年中の情勢を踏まえた侵入盗対策等の推進
- イ 自主防犯活動に資する地域住民等への適時適切な情報提供の推進
- ウ 「ながら見守り」や防犯CSR活動等による持続可能な自主防犯活動の促進・支援

報告事項

令和4年中の特殊詐欺については、認知件数91件（前年比+43件）、被害総額約9,985万円（同約-57万円）と、被害総額はほぼ横ばいであるが、認知件数が倍増した。

1 認知状況

特殊詐欺手口	令和4年12月末				令和3年12月末				増減			
	認知			被害額	認知			被害額	認知			被害額
	既遂	未遂	計		既遂	未遂	計		既遂	未遂	計	
オレオレ詐欺	11	1	12	23,210,000	0	0	0	0	11	1	12	23,210,000
預貯金詐欺	12	0	12	19,899,000	4	2	6	5,850,000	8	-2	6	14,049,000
架空料金請求詐欺	41	2	43	40,317,200	27	0	27	81,527,310	14	2	16	-41,210,110
還付金詐欺	18	0	18	11,958,656	13	0	13	11,413,881	5	0	5	544,775
融資保証金詐欺	2	0	2	150,000	1	0	1	432,000	1	0	1	-282,000
金融商品詐欺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ギャンブル詐欺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
交際あっせん詐欺	1	0	1	1,381,700	0	0	0	0	1	0	1	1,381,700
その他の特殊詐欺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
キャッシュカード詐欺盗	3	0	3	2,935,000	1	0	1	1,203,000	2	0	2	1,732,000
合計	88	3	91	99,851,556	46	2	48	100,426,191	42	1	43	-574,635

2 被害の特徴

- (1) 手口 ～ 架空料金請求詐欺が全体の47.3%（43件）を占める。
- (2) 被害額 ～ 架空料金請求詐欺の被害額が全体の40.4%（約4,032万円）を占める。
- (3) 交付形態 ～ 振込型が全体の35.2%（32件）を占める。
- (4) 年齢 ～ 高齢者が全体の74.7%（68人）を占める。
- (5) 性別 ～ 女性が59.3%（54人）、男性が40.7%（37人）である。

3 検挙状況

- (1) 特殊詐欺 ～ 33件11人（前年同期比 +20件、+2人）
- (2) 助長犯罪 ～ 40件22人（前年同期比 +8件、+8人）

4 被害阻止状況

阻止件数 104件（前年比+42件）、阻止金額約3,774万円（前年比+3,207万円）
阻止率 53.3%（前年比-4.1ポイント）

5 「検挙と抑止」に向けた取組

(1) 検挙対策

- ア 「だまされた振り作戦」と職務質問等の積極的実施による現場検挙
- イ 犯行拠点の摘発及び中枢幹部の検挙に向けた突き上げ捜査の徹底
- ウ 他都道府県警察との合・共同捜査等の積極的推進
- エ 犯行ツール対策の強化

(2) 抑止対策

- ア 広報啓発の更なる推進
 - ヨイチメール、ツイッター、防災無線等を活用したタイムリーな情報発信
 - 特殊詐欺被害防止コールセンター事業等による効果的な広報啓発の推進
 - 「ストップ・オレオレ詐欺47～家族の絆作戦～」の推進
 - 防犯CSR企業、関係機関・団体等との連携による業務性を生かした効果的な広報啓発の推進
- イ 振り込め詐欺撃退装置普及促進事業等による防犯環境対策の推進
- ウ 金融機関、コンビニエンスストア等と連携した水際対策の一層の推進